



みや なり あき よし  
宮 成 昭 義

## 6 次産業化における 商品開発の奨励状況は

「取り組みの広がりに期待」

質

6 次産業化法が平成 23 年 3 月に施行され、1 年余りが経過する中で、本市における地域生産物を原材料としての商品開発の取り組みは。

答 市長

第 2 次農業振興計画に「農商工連携による 6 次産業化の推進」として、「地域に根ざした農産加工の推進」と「アウトレット野菜※の 1 次加工の取り組み」、そして「畜産物の 6 次産業化への取り組み」を掲げ、これまで商品開発に取り組む二つの業者が生まれました。平成 23 年度に「市雇用創造協議会」を設立



アウトレット野菜の 1 次加工場

し、現在「雇用創造プロジェクト」として起業セミナーを開催しています。

このセミナーでは、地元の食材を生かしたビジネスチャンスの紹介もしており、本市の農業と商工業が有機的に連携が図られ、新たな事業展開にチャレンジする方々が生まれ、本市の 6 次産業化へ向けた取り組みが広がることを期待しているところです。

## 下車バス停の見直しを

～ 乗降調査を実施します ～

質

コミュニティバスが実証運行され 5 カ月余りが経過するが、路線によっては利用者が皆無に近いとのことであるが、その利用実態の把握は。

答

まちづくり推進課長

運行改善の要望などもあり、年内に意見集約をし、来年 3 月をめぐに運行ダイヤの見直しを行い、実証運行が終わる平成 26 年 3 月には路線も見直しを行っています。していきたいと考えています。



質

## 県体での成績向上策は

～ 十分な検討を行う ～

平成 25 年度に豊肥地区を中心に県民体育大会が開催されるが、選手強化などの取り組みは。

答

社会教育課長

豊後大野市体育協会に属する競技団体、各町スポーツ振興会などを通じて十分な検討を行っているところです。

併せて、参加資格（出身中学校）の見直しを市体育協会として要望することとしました。

※アウトレット野菜＝良質で新鮮ではあるが、規格外やふぞろいの野菜。

## 豊後大野の売り出しは順調か

～ トップセールスでPRに努めたい～



こうじなふみひろ  
神志那 文 寛

**質**

本市事業者の販路拡大に対する継続的な支援は。

**答**  
市長

主催者から市を通じて商談会や展示会への出展依頼があった場合に限り、係る経費の一部を予算の範囲内での補助や、職員の派遣などの人的な支援を行ってきたところです。

商談会などへ出展する際の統一された紙袋については、ジオパークのPRを含めたものの作成を考えております。

**質**

ツーリズム協会（仮称）の設立に向けての考え方は。

新たな人材、特に若い世代の起用が必要ではないか。

**答**  
市長

近年の観光スタイルは大きく変化し、観光客自身が現地で参加するもの、「本物に触れたい」「その土地や人との交流がしたい」というニーズを満たすもの、都市の人たちとの交流をテーマにした新しい観光などが注目を集めています。

本市は、ジオプロ

ジェクト、「体験と交流」を基本としたツーリズムの振興を目指し、仮称ですが「豊後大野市ツーリズム協会」の設立に向け、商工会・観光協会・市の3者でスタートしたところです。

より専門性の高い人材や即戦力となる人材の起用により、観光協会の機能強化にとどまらず「人・モノ・金」を動かすビジネスとしての観光や、商品の販路拡大なども担い得る総合商社的なツーリズム協会を立ち上げていく必要があると考えています。



竹田市観光ツーリズム協会

## コミュニティバスで町へ出ても、帰って来れない。改善せよ

～ 検討してまいります～

**質**

午後の便が少なく、早い時間帯に集中しているため、利用しないとの声があるが、改善は。

**答**  
まちづくり推進課長

夕方時間帯での運行については、自治委員や利用者の方々からも担当課に寄せられていますので、「利用者満足度調査」などと併せて検討してまいります。

運行便数については、「乗降調査」による利用実績を勘案しながら検討してまいります。



市役所前バス停